

2021年1月 第8号

熊本大学 学生支援室だより

～There is always light behind the clouds.～



～学生支援室だより第8号～

新年おめでとうございます。昨年から大変な状況が続いておりますが、今年が皆さまにとって笑顔の多い、いい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

学生支援室では、感染対策を行いながら支援を継続しております。体制に変更が生じた場合はホームページにてお知らせいたします。変化の多い年ですので、お困りの際は気軽に相談ください。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



《学生支援室の活動状況》

■ オープンキャンパス2020

熊本大学のオープンキャンパス2020は、新型コロナウイルスの拡大を防ぐためにバーチャルで行われました。学生支援室も、「Zoomによるオンライン個別相談会」「動画公開」という形で参加を行い、本学の障がい学生支援についてご紹介をしました。参加者からは、実際の配慮についてたくさんのご質問をいただきました。相談会に参加できなかった方にも見ていただけるよう、動画は引き続きホームページに掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

■ 法学部にて、障がい学生への対応についてミニレクチャーを行いました

令和2年9月16日(水)、法学部にて合理的配慮を利用している学生への対応についてミニレクチャーを行いました。法学部の先生方からのご希望により、学生対応の実際や気をつけている点について、個人が特定されない形で、より踏み込んだお話をさせていただきました。

合理的配慮や障がい学生の対応について、引き続き周知を行っていきたく思いますので、ご希望の部局は是非ご連絡ください。

■ 令和2年度学生支援室FD・SD講演会を開催しました

令和2年11月17日(火)学生支援室ではFD・SD講演会をZoomによるオンラインで開催しました。本講演会は、教職員が合理的配慮の理解をさらに深めるとともに、障がいのある学生への支援を円滑に行うためのスキル向上を目的に、本学教職員に加え、今回は学生も参加して行われました。

講演会は65名の参加申込みがあり、学生支援室の井上寛子特任助教による本学の障がい学生への支援状況の報告に続いて、筑波大学人間系佐々木銀河准教授による「大学における発達・精神障がいのある学生への合理的配慮等の支援



佐々木准教授によるオンライン講演の様子

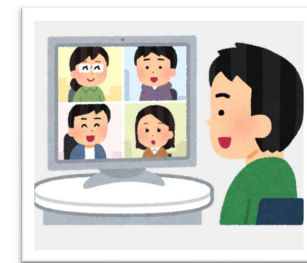
について」のタイトルで、発達障がい学生に可能な配慮や支援の事例紹介、教育の本質を明確にすると配慮の検討がしやすいこと、コロナ禍で支援に変化が生じていることなどを分かりやすくお話ししました。

参加者からは、就職活動の支援や合理的配慮に関する意見交換会の実施状況など筑波大学の取り組みへの質問が多く寄せられ、今後の本学での障がい学生支援での課題解決に大いに役立つものとなりました。

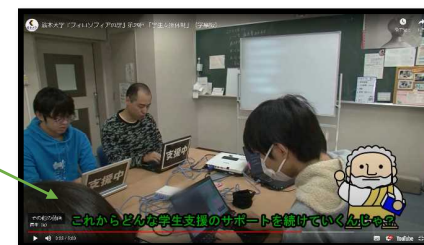
■ SUN-Kuma(Support University Network Kumamoto)活動報告

九州ルーテル学院大学のパソコンテイク等の支援を行っている学生と、本学学生サポーターサークルの学生との交流会「SUN-Kuma 交流会」を行いました。2018年10月より、九州ルーテル学院大学サポートルームと本学学生支援室は、毎月1回の会合を開催し、障がい学生のサポートについて情報交換を行い、お互いに協力出来る体制の構築に力を入れています。

昨年度に引き続き、今年度も学生同士の交流会を行いました。新型コロナウイルスの感染予防の観点から対面ではいきませんでした。Zoomを利用して、それぞれの自己紹介や活動報告などを行い、今ならではの交流が楽しめたようです。



■ サポートスタッフが動画に字幕を付けました！



字幕をつけた動画の一部

障がい学生支援について紹介する動画に、学生サポートサークルのスタッフが字幕を付けました！動画編集ソフト(Corel VideoStudio X10)を利用し、文字の色や配置など、「どうしたら見やすくなるか」工夫をしながら完成させました。学生支援室のホームページ(動画で紹介！)に掲載しておりますので是非ご覧ください。

就職支援課より

R3年1月から、就職支援課主催の各種イベント詳細をお知らせして行く予定です。3月1日～3月5日(3月4日は熊本県内企業)は企業説明会を実施します。参加には、KUMA★NAVIから予約が必要になりますので、KUMA★NAVIへご登録いただければと思います。他にもキャリア相談の予約や求人、インターンシップ情報もみることができますので是非ご利用ください。



支援室を利用していた卒業生に、大学生活を振り返ってコラムを書いていただきました。大学生活の中で悩んだことや努力したこと、悩んでいる人へのメッセージをもらいましたので是非読んでいただければ嬉しいです。



《コラム》

私は、本年度の9月に熊本大学を卒業しました。在学中は楽しい思い出がある一方で、うまく行かずに苦労した経験も多々あります。

そこで、このコラムを読む学生の皆さんに少しでも学生生活の参考になればと思い、私の経験を元に、今回筆を執らせていただきました。拙い文章ですが、日々の中で不安を抱えている人の一助になれば幸いです。

大学2年次の頃、人間関係のトラブルをきっかけに、講義の最中に陰口を何度か言われたことがあります。そこから「今も後ろで誰かに何か言われているのか」と常に思うようになり、結果として大学に通う頻度が次第に減少していきました。当時、家族や仲のいい友人らはいましたが、自分の悩みを打ち明けようにもなかなか言い出せず、抱え込んでしまう日が長らく続きました。大学生になったことで、精神的に自立した人間でいなければならないという気持ちが強く、そのせいで自分の弱さを誰かにさらけ出すことをためらってしまったのだと思います。

大学の講義と卒論に加え、サークル活動が現役として最後であった3年次や就職活動に奔走した4年次はより大変でした。3年の冬頃に家族に自分の状態を伝えて、以後卒業に向けて努力しましたが、それでも多人数の教室に入る勇気がなく、講義を受けない日が何度かありました。その結果、学業における成績が振るわず、当時の内定先にも迷惑をかけてしまいました。

その後、大学を卒業するかどうか悩みましたが、これまでの努力を無駄にしたくないという思いが強く、やはり卒業したいと考えるようになりました。ただ私一人だけでは大学を卒業できるか、改めて就職が無事成功できるのか不安があったことも事実です。

どうしようか迷った末に、目にとまったのが大学の学生支援室でした。大学のサイトやパンフレットの内容を見ると、授業に出られないほかにスケジュール管理が難しいなどの悩みを持つ学生向けに修学の配慮や生活支援を行うと記載されていました。今後の学生生活に不安を抱えていた私にとって、学生支援室はとても気になる場所でした。

実際に学生支援室で話をしたときに、最初は自分の悩みがきちんと伝えられるか、理解してもらえるか緊張でいっぱいでした。しかし、相談に応じてくれた職員の方々は優しく対応してくださり、とても話がしやすかったです。

話を進めていく中で、合理的配慮による受講のための措置を取り計らってくれたり、メンタルクリニックや精神科のある病院の候補を見繕ってくれたり、就職活動に関する相談などさまざまな支援を講じてくれました。そのため一人で抱え込んでいた時期と比べて負担が大幅に減り、気持ちが楽になる時間が増えました。春から夏の間、オンラインでの講義や就職活動を行う一方で、定期的に話を聞いてもらうことで冷静かつ理論的に物事を伝えられるようになったと思っています。

学生支援室のサポートのおかげで、講義が受けやすくなっただけでなく就職活動にも前向きに取り組めるようになりました。前期のうちに単位を取りきることができ、秋に無事卒業できたのは自分の力だけではありません。周りの力添えあって、初めて達成できたことだと実感しています。

大学卒業後の現在は熊本市発達障がい者支援センター「みなわ」が引き継ぎ、就職活動中や活動後に関する相談や支援を担っていただいています。今年の秋に第一志望の内定を貰い、今は就職中のケアに関する話を進めている途中です。

本年度の学生生活を振り返ると、自分が苦しいときに最も重要なのは誰かに「助けて」と声に出すことだと改めて思いました。私自身、長らく自分の弱さをさらけ出すことができず、そのせいでより悩んでしまうときが何度もありました。しかし、一歩踏み込んで身近な人物、あるいは公的な組織などに思いを打ち明けて助けてもらうことで、はるかに楽に生きることができたと感じています。私と似たような悩みを抱える方がもしもいるならば、気軽に誰かを頼ることで、本来の自分の実力をより発揮できる状況が生み出せるのだと強く訴えたいです。

ありがとうございました😊！

《ウェブコラムのご紹介》



日本学生支援機構が、障がい学生の支援に関する大学等の対応について、ウェブコラムを発信しています。「同等な機会の提供とは」「教材、授業、試験等における情報保障」「就職支援について」など、架空の事例を用いて分かりやすく説明されています。学生支援機構のホームページより「ウェブコラム」で検索してご覧ください！

◆◇ サポートスタッフ募集!! ◇◇

学生支援室では、これまであったノートテイクサークルの活動を拡大し、様々な障がいへの支援が提供できる体制作りを進めています。名称を『学生サポートサークル』へと変更して活動中です。サークルでは、サポートスタッフとして活動をしてくれる学生さんを募集していますので、バリアフリーマップの作成やノートテイク、手話に興味のある方、誰かのために何かしたいと思っている方、質問からでも大丈夫です。下記までご連絡ください。



熊本大学学生支援室 (Student Accessibility Support Room)

場所：黒髪北キャンパス 全学教育棟1階
開室時間：月～金 8:30～17:15(祝祭日を除く。)
TEL：096(342)2765, 2766
HP：<https://sien.kumamoto-u.ac.jp/>

